

第 2 回富士見市環境審議会会議録

日 時	平成 3 1 年 3 月 2 7 日 (水)			開 会 午後 2 時 0 0 分 閉 会 午後 3 時 2 5 分
場 所	市長公室	出席者数	委員定数 1 5 名中 出席者 1 4 名	
出 席 者	委 員	澤田会長、須田副会長、木内委員、近藤委員、中村委員、京谷委員、千種委員、守山委員、関根委員、羽石委員、細田委員、住吉委員、高橋委員、戸塚委員 ※欠席 細田委員		
	事 務 局	【事務局職員】 村木環境課長、谷合環境課副課長、横田環境課主査、山田環境課主査		
配付資料	1 次第 2 富士見市の環境[平成 3 0 年版<平成 2 9 年度実績>] 3 平成 3 1 年度環境施策について			
公開・ 非公開	公開 (傍聴 0 名)			

内 容
<p>1 開 会 環境課長</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 平成 3 0 年版「富士見市の環境<平成 2 9 年度実績>」について</p> <p>(2) 平成 3 1 年度予算について</p> <p>(3) その他</p> <p>2 議 事</p> <p>(1) 平成 3 0 年版「富士見市の環境<平成 2 9 年度実績>について 〈事務局〉 ページごとに主な内容と変更部分について説明。 〈委 員〉 外来種の対策として、アライグマの捕獲数は増えていると思うが、繁殖力が高いのが原因ではないか？すぐ殺処分するのではなく、対策として例えば年齢などの統計を取った方がいいのではないか？ 〈事務局〉 アライグマは、委員が言うとおりに、繁殖力が非常に高いことに加え、天敵がい</p>

ないことなどが原因で、年々増え続けている。捕獲したアライグマについては、体長、体重、雄雌、年齢等のデータを残し、県に情報提供している。

〈委員〉アライグマは、空き家の屋根裏に住み着くことが多いと聞いているが、空き家対策を進めた方がいいのではないかな？

〈事務局〉市では、建築指導課、安心安全課、環境課などの課で対策協議会を設け、空き家対策を進めているが、民地上の対応は難しいところもある。

〈委員〉近年宅地開発が進んで、木の伐採が増えていると思うが、緑のトラスト協会等の自然保護活動を推進した方がいいのではないかな？

〈事務局〉まちづくり推進課が市独自に保存樹木と樹林が一体となった緑の保全を実施している。

〈委員〉最近マイクロプラスチックが問題になっているが何か対策は考えているかな？

〈事務局〉国がマイクロプラスチックを減らす週を定めているので、広報で周知する予定である。

〈委員〉電源の確保等も含めて、災害時の井戸水の利用について、見直しを図った方がいいのではないかな？

〈事務局〉さいたま市では、日産自動車と協力し、電気自動車を活用した電源の供給を行っているということを聞いているので、本市でもこういった先進事例を始め、災害時の電源確保等を検討していきたい。

〈委員〉湧き水は、飲料水には適さないかな？

〈事務局〉飲用となると最低でも十数項目の検査をクリアしなければいけないので、難しいと考える。

〈委員〉湧き水を見たことがない人も結構いるので、市民に親しみやすさとか地球環境に及ぼす影響等も含めて、湧き水の魅力をもっと市民にPRしていけばいいのではないかな？

〈事務局〉湧き水については、今年度市内29箇所すべてを回り、調査をしたので、これからどのように市民にPRしていくか検討していきたい。

〈委員〉どんぐり山公園と鎌倉古道とをセットでPRしていけばより効果的になる。

〈委員〉身近な市民とのやり取りは、環境課にかなり負担がかかってしまうので、もっと他の部署と連携してやっていくことはできないかな？

〈事務局〉環境課のみでは難しい点が多々あるので、富士見市の環境の45ページにもあるように環境にやさしい都市づくり検討委員会において、庁内の部署と連携し、計画等を進めるよう努めている。

〈会長〉他にないようであれば、議事(1)富士見市の環境は終了し、議事(2)の平成31年度予算の説明を事務局よりお願いします。

(2) 平成31年度予算について

〈事務局〉資料に基づき、平成31年度の予算の概要と新たな取組みについて説明。

〈委員〉限られた財源の中で、努力されているのはよく解ります。その中でも予算が少し減っているのが気になっており、事業が後退することはないかな？

〈事務局〉予算確保に向けては、引き続き努力していきたいと考えていますが、今回新年

度予算が若干減っているのは、例えば環境基本計画の冊子の印刷が不要になったり、ムクドリ対策については、今回は特殊波動装置の購入がなくなり、保守点検だけになったことなどが主な要因であり、事業の後退ということではありません。

〈委員〉環境課の予算というのは、市民参加型の予算とならなくてはいけないので、これでは全体的に少ないように思える。少ない人員の中で大変だとは思いますが、事業の充実を図る必要があるのではないかと？

〈委員〉市民をバックアップすることも必要ではないか？市民と行政が一体型でもよいと思う。

〈事務局〉市民と行政が一体型のものでいいと思うので、今後検討していきたい。

〈委員〉しののめの里の稼働率は、どうなっているか？

〈事務局〉稼働率は、ローテーションを現在13回に増やして運営している。二市一町内の人の利用とそれ以外の方の利用と料金を差別化しているが全体の利益は少し上がっている。ただし、大きい斎場での稼働率は下がっており、これは家族葬が増加していることが要因ではないかと考えている。

(3) その他

〈事務局〉平成31年度の審議会の開催予定について説明。

閉 会 環境課長